

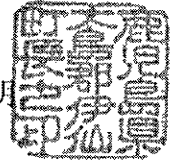
伊 建 第 369 号

平成 20 年 10 月 27 日

国土交通省道路局長 殿

鹿児島県伊仙町伊仙 1 8 4 2

伊仙町長 大久保 明



今後の道路行政についての意見・提案について

標記の件について別紙のとおり意見・提案書を提出しますの
でよろしくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県伊仙町

経済性を重要視するあまり、最近の道路行政は、費用対効果だけを追い求める傾向にあるのではないかと思います、道路建設あたって費用対効果は最も大事な要因だと思いますが、経済面だけを重視した道路行政を進めていきますと、当地域の様な過疎地域は益々衰退する一方だと考えます、道路は地域活性化対策のバロメーターです、この様な観点から、地域の実情を考慮した、潤いのある道路行政を推進して頂きたいと思います。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②-1 地域の現状と抱える課題

鹿児島県伊仙町

○現状 高齢化社会における、交通安全対策および、バリアフリー対策としての歩道工の設置	○課題 当町は高齢化率が33.5%で、人口7,400人のうち100歳以上が17名、90歳以上が190名で、典型的な高齢化社会であり、高齢者の交通安全対策は地域の重要課題である、しかし当町の殆どの道路(9割以上)は幅員が4mと狭く、歩道がないため、接触事故等が頻繁に発生、特に高齢者の事故が多発している、この様なことから歩道設置が急務である、については現行の道路構造令にとらわれず、地域の実情に考慮した歩道工設置だけの、道路改築工事はできないか。合わせて重要路線についてはバリアフリー化も推進できないか。
--	---

今後の道路行政についての意見・提案

様 式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

鹿児島県 伊仙町

当町のほとんどの道路は、幅員が狭小で歩道がないため、常に交通事故と隣合わせの状況にあり、歩道工の設置は道路行政の喫緊の課題です、この様なことから現行の道路構造令にとらわれない、地域密着形の道路行政を推進することにより高齢者や子供に優しい、地域環境にマッチした道路建設が推進できたらと考えています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

鹿児島県伊仙町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他